

カーブスコレクション  
NPO法人 W.Co



# たすけあい磯子

会報  
NO.18

発行日 2013年5月19日  
発行責任者 伊藤和子



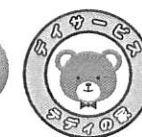
「たすけあい磯子」は  
人と人との出会いやつながりを大切にしながら  
自分たちの住む地域の中で安心して生活できるように  
互いに支えあう「たすけあいの輪」を広げたいと願って  
活動しています。

# 今、あなたのために 何時か、私のために

—たすけあい磯子スローガン—

# 夢の実現

## デイサービス『テディの家』



理事長 伊藤 和子

### デイサービス開所の御挨拶

拝啓 時下ますますご清栄のことと存じます。  
さて、このたび『たすけあい磯子』は平成25年4月1日より私たちの夢の実現として、  
デイサービス『テディの家』を開所する運びとなりました。  
つきましては、お引立てを賜りたく御案内申し上げます  
地域密着型の家庭にいる暖かい雰囲気をもっと、会員一同、鋭意努力して  
まいりたいと思います。  
まずは略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます。 敬具



昨今、介護保険も多様化していて、いろいろなサービスがあります。超高齢社会に突入しており、自分の最後をどこで迎えるか、どんなサービスを利用して生活を継続していくか、子供に頼るのではなく、今から自分で考えていかなければならない時代になってきました。

誰もが住み慣れた自宅ですっと生活していきたいと思う方が多いと思います。しかし、体調が悪くなり医療的な処置が必要になり、急性期病院へ入院します。病気が治り安定期に入るや否や病院側は、退院に向けて相談となり、自宅で生活できるようになるまで入院はできない訳です。また本来なら病院と自宅の中間施設である、介護老人保健施設は\*薬の量が多い\*問題行動がある\*空きがない等の理由で入所することがなかなか困難になっている現状があります。そうなった場合は、有料老人ホームという手もありますが、これは誰でも利用できるわけではありません。そこで、地域にある資源を活用し、自宅で生活していきます。『たすけあい磯子』のデイサービスは地域の資源のひとつとなるように、質の高い施設を目指し、メンバー一同努力していきたいと思っております。

平成24年より洋光台地域において、洋光台まちづくりの会が立ち上がりました。『たすけあい磯子』もメンバーの一員となり、子供から高齢者まで住みやすい環境となるよう、大勢の地域関係者と共に取り組んでいきたいと思っております。

### もくじ

理事長挨拶 伊藤和子	1	
ワーカーより		
・洋光台まちづくり計画に参加して	黒澤 博子	2
・たすけあい磯子での10年間	山本和美	3
活動報告		
・4月～6月	4	
・7月～9月	5	
・10月～12月	6	
・1月～3月	7	
サークル活動		
・菜園作ってみました	8	
・お教室を開いてみました	9	
デイサービス		
・デイサービスオープン	10,11	
・デイサービスオープンに寄せて	12	
資格とりました	13	
研修報告		
・感染症対策 ・いきいきヨガ	14	
・福祉用具体験会 ・救命入門コース	15	
新人紹介	16	
ご利用者より寄稿 七五調 紺藤政一	17	
コミュニティ		
・交流会	18	
・クリスマス会	19	
ワーカーズ・コレクティブ紹介	20	
賛助会員募集・編集後記	21	

## 洋光台まちづくり計画



に参加して

黒澤 博子

洋光台のまち開きから40年が過ぎ、にわかにはまちづくり(つくり・かえ)が進んでいる様です。

洋光台は道路・公園などまちの基盤が整い落ち着いた住環境と豊かな緑を誇る魅力的な住宅地ですが、住民の少子高齢化も進み、寂れた町になりつつあります。そんな中、二つのプロジェクトと出会い活動する機会をいただくことができました。

一つは、洋光台10年後計画のもと行われたワークショップで、洋光台の町歩きから始まり、グループディスカッションでは「洋光台らしさ」「洋光台のよいところ・課題」「地域で取り組みたいこと」「今後の進めるべきテーマ」について意見交換が12月～3月まで行われました。

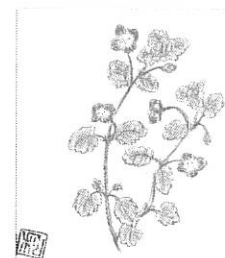
12月10日には、都市再生推進協議会と高校生と先生方(港総合高校・戸塚高校)、横浜市の方々で20名近くのメンバーが『たすけあい磯子』のコミュニティールームに集いヒヤリングが行われ、「地域の高齢者は地域をどのように考えるか?」「暮らしや住まいの現状や課題」等、熱心に聞かれ、やり取りがありました。高校生のまじめな取り組みに感心し、頼もしさも感じました。

この二つの会議を通して共通する言葉は「連携」、「ネットワーク」で重要性を再確認いたしました。また、コミュニケーションがとれる場所、全世代型の人が集う場所づくりも大きなテーマになってきています。

私たちの役割はこれからです。

今回は地域の様々な立場、年代の方々と出会い、地域に参加できた機会をいただきありがとうございました。

## たすけあい磯子での10年間



山本 和美

ちょうど10年前の春、先輩の紹介でケアマネージャーとして皆さんの仲間入りしました。1級ヘルパーや介護福祉士の資格保持者がたくさんいて、勉強熱心な人が多く、成熟した事業所だと感じました。なによりも皆さんが温かく、なにかと声をかけてくれて嬉しかったことを覚えています。

ワーカーズ・コレクティブのことはよく理解できませんでしたが、皆さんの事業運営の仕方や地域貢献を大切にしていること、どの職種の人も大切にするというスタンスを通して、遅まきながら、今やっと少しわかったような気がしています。

そして、この春には年齢を重ねても働ける職場を増やそうと、デイサービスが始まり活気づいています。最初は、このデイサービス乱立の時代に借金というリスクを抱えてまで、大丈夫なのかと半信半疑でしたが、皆さんの熱意に押されて、よそのデイサービスがしていないことは何か、何を売りにしたらいいのか真剣に考えたり、宣伝したり、気がついたらサポートするようになっていました。

外に目を向けてみると、介護保険制度はこの10年間に目まぐるしく複雑に変わり、介護度によっては受けられないサービスがあるという軽度者へのサービスの制限がある一方では24時間巡回型介護・訪問看護により、重度介護者の在宅生活の限界点を高めるような施策になってきています。

つい最近にも、厚生労働省は「要支援」と認定された軽度者向けのサービスを見直す方針を打ち出しています。またヘルパー2級の後継資格として「介護ヘルパー初任者研修」という新しい資格ができるようです。この未曾有の超高齢化社会をどのように対処していくべきか、国も個人も真剣に考えなければならない時代です。

このように、私たちをめぐる環境は大きく変わりつつありますが、『たすけあい磯子』の地域に根付いた活動が続き、優しい熱意と強さがあるかぎり、どんな変化にも対応できると信じています、

今年度のお誕生日カードは山本和美さんのお花の絵になりました。  
研修や、デイサービス準備のための会議もたくさんあり、充実した年でした。

### 4月

◆17日(火) サロン ○韓国料理



ヤマフキ



◆21日(土) 定例会 出席者29名

- 20周年記念誌配布
- 新起業準備委員会  
ご利用者向けアンケート配布

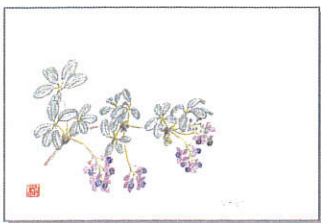
利用者のみなさん、  
ご協力ありがとうございました。



20周年記念誌

### 5月

◆15日(火) サロン ○イタリアン



アケビ



◆19日(土) 総会 出席者30名  
委任状14名  
定例会 出席者33名

- 新起業準備委員会  
ご利用者向けアンケート集計経過

### 6月

◆16日(土) 定例会 出席者26名

- ミニ研修「介護保険申請からサービス利用までの手順について」  
講師:ケアマネ須藤文子さん
- 新起業準備委員会  
ご利用者向け、ワーカー向けアンケート集計発表  
物件3件検討

◆19日(火) サロン○カレー



ハコネウツギ



### 7月

◆10日(火) デイサービス試食会  
いも版教室



ニラの花とアカタテハ

◆17日(火) サロン ○冷やし中華



◆21日(土) 定例会 出席者32名

- ミニ研修「ヒヤリハット」  
事例をもとに  
主催:サービス提供責任者



庭で採れた野菜も  
使いました

◆27日(金)・28日(土) 洋光台三丁目自治会夏祭り出店



水あめ 300個  
冷やしきゅうり 600本  
フランクフルト 600本  
完売しました!

### 8月

◆18日(土) 定例会 出席者28名  
研修 『感染症対策』講師:佐藤大輔先生  
主催:サービス提供責任者

◆21日(火) アクセサリー作り教室



ツルボとイチモンジセセリ

### 9月

◆15日(土) 研修『いきいきヨガ』講師:立花博子さん

- 於:洋光台三丁目自治会館  
主催:自主事業

定例会 出席者23名

- 新起業準備委員会 2件の候補物件についての説明および見学

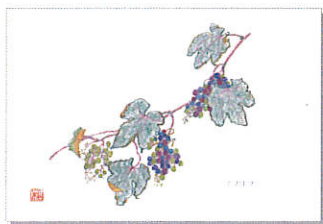
◆18日(火) サロン ○秋の松花堂弁当



クサギ



- ◆14日(土) 交流会 東京スカイツリー 参加者56名  
ご利用者29名  
ワーカー27名



ノブドウ



- ◆20日(土) 研修「福祉用具の体験会」  
○於: 洋光台地域ケアプラザ 主催: ケアマネジャー

臨時総会 出席者31名 委任状13名  
○第1号議案 定款変更

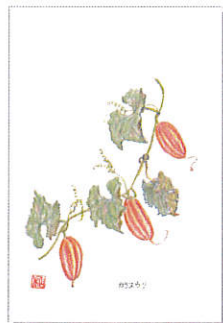
定例会 出席者31名  
○デイサービス物件決定



- ◆1日(木) 同行援護サービス開始
- ◆13日(火) いも版教室
- ◆17日(土) 研修『救急救命』指導: 磯子消防署  
定例会 出席者23名  
○デイサービス物件  
リフォームについての説明

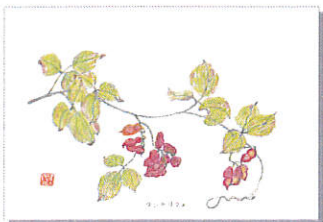


- ◆20日(火) サロン ○中華  
○デイサービス開所に伴い、  
この回をもってサロン終了



カラスウリ

- ◆15日(土) 定例会 出席者27名  
○デイサービス名称  
『テディの家』に決定
- ◆17日(土) テディの家のリフォーム開始



タンキリマメ

- ◆18日(火) クリスマス会 ○於: 洋光台三丁目自治会館

参加者58名  
ご利用者32名  
ワーカー26名



## 1月

- ◆19日(土) 定例会 出席26名  
○ミニ研修「障害者自立支援ミニ学習会パート2」  
「通院介助と同行援護及び異動支援について」講師: 黒澤博子さん  
○デイサービスロゴデザイン決定  
開設までの予定発表



ムラサキシキブ

デイサービス  
テディの家



- ◆下旬～ デイサービス開所に向け、ケアの研修開始  
○協力 洋光台地域ケアプラザ・W.Co樹(アープレ)

## 2月

- ◆16日(土) 定例会 出席者28名 於: テディの家  
○デイサービス開所に向けての打ち合わせ



ヤブツバキ

- ◆23日(土) メナー洋光台より引越し



- ◆26日(土) 送迎車納車

## 3月

- ◆10日(日) デイサービス「テディの家」開所式



チューリップ

- ◆12日(火) 特別サロン



○お披露日も兼ねた特別サロン  
11月以来のサロンで話にも  
花が咲きました。

- ◆13日(水)～15日(金)  
デイサービス「テディの家」内覧会
- ◆16日(土) 定例会 出席者27名 ○新起業準備委員会解散
- ◆31日(日) 看板設置





せつかく目の前に庭があるのに、草とハーブがぼうぼうに生えてるだけ…



これはもったいないと、草刈りから始めてみました。

菜園作って  
みました



きゅうりやなす、ピーマン、ミニトマト、そしてゴーヤを植えて、さてさて…

土が粘土質な為、あまり良い条件ではありませんでしたが、事務所の方に水まきを協力していただき、きゅうり、なす、ピーマン、ししとうが豊作でした。サロンできゅうりやピーマン、デイサービス試食会ではししとう、なすの天ぷらができました。



トマトが色づき始めました。ゴーヤは不作…

一番菜園に近かった席の岸さんには野菜達からのアプローチが激しかったため、しまいには「岸菜園」と名付けようかと思うほど協力していただきました。できた野菜は苗や土のカンパをしてくれたワーカーにお分けしました。デイサービスでもブレンダーで少し作れると良いですね。

お教室を  
開いて  
みました

広報の打ち合わせ中、ワーカー同士が定例会でしか会えず、親睦の為に何をしたらよいか？と話しているうちに思いついたお教室。  
○ワーカー同士の親睦 ○サロンや定例会以外でもコミュニティスマイルを活用できる ○事務所に来やすくなる ○事務所に来ること、サ貴さんが仕事を頼みやすい、ワーカーも受けやすいかも ○デイのレクに役立たないか、などなど一石二鳥ならぬ何鳥にもなるんじゃないかと盛り上がり、最初は広報のメンバーで仮教室をやってみようということになりました。



いも版

まずは誕生日カード、会報の表紙でも使っているいも版を百々さんに教えてもらいました。じゃがいもを彫刻刀で切り抜いて型を作っていきます。出来上がった型をガーゼにベタベタ押しして、完成。完成したガーゼはこの時期ちょうどお孫さんが生まれたワーカーにプレゼント。11月にはクリスマスモチーフにポーチも作りました。



アクセサリー作り

第2弾はワーカー中村美津江さんに「ガラスミルフィーユ」を教わりました。今回は広報以外のワーカーも誘いました。特殊なガラスを重ねて好きなデザインに成形していきます。20分焼いたものを時間をかけて冷ましていきます。出来上がりは風合いが全然違います。



グラスリッツェン

ガラスを冷ましている間、時間が余っていたので、中村さんにグラスリッツェンも教わりました。ガラスの中に図案を入れて、ダイヤモンド針でガラスを彫っていきます。素敵なガラスができました。



もっとたくさんの人に体験してもらいたかったのですが、ワークがあって参加できない人が多くて残念でした。またデイサービスでやるには色々課題がありますが、工夫すれば出来ないことはないと思いますので、是非実現させたいです。





# デイサービス テディの家

『デイサービス テディの家』は『たすけあい磯子』を利用していたご両親が住んでいた家を「地域の福祉に役立てて頂ければ」との家主さんの思いを大切にスタッフ一同知恵を出し合い ご利用者が家庭的雰囲気の中で安心してサービスを利用できるように民家を改装した施設です。  
家主さんのお父様が海外で活躍していた頃「テディ」の愛称で呼ばれていたことから、『テディの家』と名称をつけさせていただきました。



## 送迎部門

磯子区、港南区を2台の車で奔走中～。



## ケア部門

レクリエーションはオセロ、ボーリング、トランプ、バスケットボール、間違い探し、歌のボランティア、折り紙などなどやっています。他にも色々と企画中！



## 開所式

3月10日(日) 10:00～



入口です



ごあいさつ



たくさんの方がお祝いにかけてくださいました  
洋光台五丁目自治会長の石尾さんの音頭で乾杯



お花もたくさん  
いただきました。



## 調理部門

サロンの経験を活かして安全な食材を使い、  
季節感あふれるお料理を提供します。



## 特別サロン 3月12日(火) 11:30～

おしまれつつ11月で終了したサロン、  
デイサービスのお披露目も兼ねて、  
内覧会前に特別サロンを開催しました。  
常連の方も初めての方も、たくさんの  
方々にひとときを楽しんでいただきました。



ちらし寿司他

# デイサービス オープンに寄せて

新起業準備委員会委員長 廣瀬喜美恵  
& ワーカーより

家庭的な雰囲気の中  
くつろげる空間作りを  
目指して頑張ります

会員皆の夢(デイサービス)の実現に向けて  
動き出して4、5年を経て思いが叫びました。  
道のりはアップダウンめげそうになると励まして  
話し合いを重ね途中めげそうになると励まして  
くれた仲間とご利用者、共に協力してくれた  
仲間とやっとたどり着く事ができました  
夢は実現するもの、実現させるものなんだと  
感じる一瞬を味わうことができたことに感謝  
4月1日の開所から早一ヶ月が経ち、新しい事業に  
の毎日です。まったくの新しい道に進んで  
下さる思いで、勇気を出して通って来て下さる  
ご利用者。不安でドキドキしながら新しい  
挑戦している仲間たち。それぞれに進んで  
しっかりと受け止めて一歩一歩確実に進んで  
いこうと気持ちを新たにしました。ご利用者と  
仲間たちと共に共同でデイサービス  
「テディの家」を作り上げていくことを目標に  
また、新しい道へ進みます。

心をこめて  
ケアに努めます

ステップアップで  
ファイト!  
頑張るぞー。

新起業準備委員会委員長

廣瀬喜美恵

ご利用者の沢山の笑顔に  
お逢いしたいです。  
楽しかったとの  
一言が聞きたいです

利用者の皆様に、  
利用者に気持ちよく  
安全に気持ちよく  
過ごして頂ける様  
頑張ります

沢山の方との  
めぐりあいふれあいを  
大切に一日楽しく  
過ごして  
いただける様に  
努力したいです。

「テディの家」に来て楽しかった  
また来たいと思える様な  
デイにしたいと  
思います



今年度は多数のメンバーが  
資格取得に挑戦しました。  
これを活かして今後も活動していきます。

- ヘルパー2級 4名
- 介護福祉士 5名
- 介護支援専門員 1名
- ガイドヘルパー 1名
- 同行援護 3名

## ヘルパー2級

私がヘルパー研修を受けたのは子供に手がからなくなったので、地域社会に貢献できることがしたいと思い、軽い気持ちで受講しました。ですが…実習先が重度の認知症の方の施設で、この仕事が本当に私にできるかしら?と…とても悩みました。こんな不安の中「たすけあい磯子」の仕事を始めましたが、周りの方たちが皆親切に接して下さるので、今では不安も薄まり、利用者さんの笑顔を見るのが楽しみです。今後は、デイサービスでも頑張りたいです。一田中 由佳一

## ヘルパー2級

私は、2012年8月のはじめにヘルパー2級を取得しました。資格をとる前はボランティアをしたいという気持ちの方が強かったと思います。資格をとってからは少しずつですが、仕事(ワーク)に対する心構えが変わってきました。これからいろいろな経験をして、私に出来る事をしていきたいと思っています。最初この年で資格をとるなんて…と思いましたが、今は背中をおして下さった方々に「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。一山中 睦美一

## 介護支援専門員

今の心境は「正直大丈夫かな?」という気持ちでいっぱいです。まさか合格できると思っていなかったもので、「ケアマネ」やりますと言ってはみたものの不安が先に立っています。

現在たくさんの仲間と研修を受けていますが、想像以上に大変な事が多くギブアップ寸前です。でも頼りになる事務所の先輩がアドバイスしてくれるのでとてもありがたいです。

この夏からケアマネジャーとして関わっていくことになりましたが、あまり力まずに頑張っていくと思っています。皆さんよろしくお祈りします。一勝山 礼子一

## 介護福祉士

受験勉強を始めてすぐに、無謀な挑戦をした事に気がつきました。頭に入らない、おぼえられない、すぐ忘れる、混乱した頭の中でとにかく読むだけではだめな事に気づき、書いて覚える事にしました。読むでは書き…読むでは書き…の繰り返し、最終的には黒のボールペン6本、赤を2本使い切っていました。そんな中で少しずつ知識を得る楽しさを味わいました。そして何よりもこれからの仕事の一つでも二つでも、役に立つ事が出来たら幸いと思っています。一中村 美津江一





### 感染症対策

H24.8.18(土) 12:00～ 参加者28名  
於:コミュニティ・スマイル  
講師:佐藤大輔先生

毎年恒例の大輔先生の研修です。  
今回は感染症の対策について教えていただきました。

#### ■感染症対策

体に入る前に病原体を殺すこと。  
原因となる病原体の特徴感染経路を知り、  
人の体に入る経路を断れば感染は起こりません。

#### <感染経路>

HIV・B型肝炎・C型肝炎・・・血液体液感染  
インフルエンザ・結核・・・飛沫感染  
ノロウイルス・O157・・・経口感染  
疥癬(かいせん)・・・接触感染

感染経路は多様でこれらすべてをブロックする  
ためにはスタンダードプリコーション\*が必要です。

\*スタンダードプリコーションとは…

人の体から出るもの、血液や体液、その他の排泄物などは直接触れるとすべての感染の危険性があります。また粘膜や創傷に触れる場合も同様です。そういう機会がある場合は必ず手袋が必要になります。本人が気付かないところでウイルスや細菌に感染していること(保菌者)があるそうです。そのことを十分に理解していただき、ヘルパーとご利用者、相互のウイルスや細菌の感染を防ぐためにも、訪問時はゴム手袋とマスクを着用して作業することが望ましいそうです。

#### ■殺菌

- 細菌もウイルスも「生き物」です。  
熱と毒をもって退治  
<熱を利用して>  
①温度が高いほど短時間で殺菌できる  
85℃で1分以上  
②乾燥した熱より、湿り気のある熱の方が効果が高い。
- ③100℃のお湯であれば業務レベルに有効な殺菌効果が得られる。
- ④電子レンジも活用できる。
- ⑤冷蔵庫を過信しない。
- <薬を使用して>  
①エタノール  
②次亜塩素酸ナトリウム  
(ミルトン・ハイター)



自主事業主催で腰痛予防のために  
行ったヨガ教室。  
実際も、写真もかなり妙な集団でしたが  
心を無にしてストレス発散になりました。

### 福祉用具 体験会

H24.10.20(土) 10:00～ 参加者31名  
於:洋光台地域ケアプラザ  
協力:ダスキンヘルスレント港南ステーション

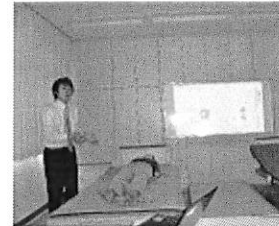
福祉用具は日々進化しています。今回はダスキンヘルスレントの藤田さんとモルテンの山本さんが実際に器具を搬入して下さり、参加者が体験しながら説明を聞きました。モルテンはサッカーボールやバレーボールなどで有名なモルテンです。介護事業もやっているんですね。



藤田さん



山本さん



寝てみて体のどこに圧がかかっているか機械を通して知りました。



通常マットと床ずれ予防用具の違いを体感。



介護する側もされる側も負担が少なく体位交換などが楽にできるクッション。



手すりを実際に触れて持ちやすさを体感。

### 救命入門 コース

H24.11.27(土) 10:00～ 参加者23名  
於:コミュニティ・スマイル  
講師:磯子消防署 石原さん・佐藤さん

磯子消防署より 石原さん・佐藤さん、ボランティアスタッフの鹿江さん・三上さん・森本さん・酒巻さんが指導してくださいました。



1. 救急車が到着するまで、胸骨圧迫を続ける
2. AED(自動体外式除細動器)を使用する



ボランティアスタッフの鹿江さんは実際に何人かの人を助けているそうです。AEDはちゃんと音声案内されるので、怖がらず使いましょ。いざという時あわてないよう、しっかり練習。



# たすけあい磯子によろこそ♪

- ① 趣味・特技
- ② 自己PR
- ③ 抱負

## ♡ 田中 由佳さん

- ① 旅行・買い物・花いじり・犬いじり
- ② 健康増進、メタボ対策のため運動をしなくては！と思いつつ、なかなか重い腰が上がらないでいます。どなたか一緒にやってくださいませんか？
- ③ 右も左もわからないこの業界ですが、少しずつ色々な事を覚えて少しでも社会の役に立てるようになりたいです。



## ♡ 綾戸 のぶ代さん

- ① 読書
- ② 物おじしいところ（ずうずうしい？）が長所です。
- ③ わからないことだらけ…勉強することはたくさんありますが、がんばります。



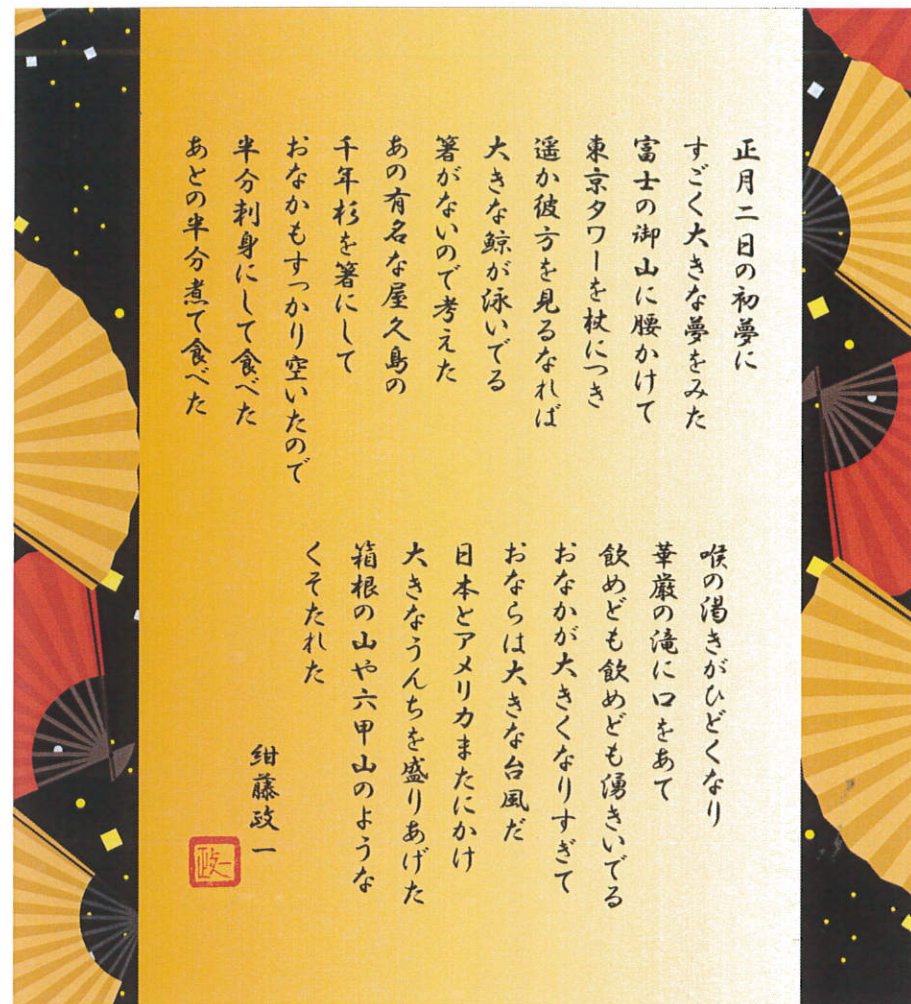
## ♡ 根本 麻理子さん

- ① 趣味は旅行です。念願だったオーロラ見たさに、夫も息子もかなぐり捨てて、一人フィンランドに行ってしまうました。おまけでサンタクロースにも会ってきました。
- ② 無芸大食が取り柄といえれば取り柄です。汐見台の団地ではサンタのおばさんを毎年やっています。ご要望があればどこでもクリスマスには登場できると思います。
- ③ たすけあい磯子とは遠い昔にご縁があって、私の介護関係の仕事の出発点でした。その後子育てが忙しくなり、ご縁が途絶えてしまいましたが、またご縁があって一緒に働かせていただけるようになりました。地域の皆さんのお役に立てるようなケアマネになれるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いたします。



## ♡ 山下 弥弓さん

- ① 趣味は旅行、特技はいやな事もすぐに忘れる単純な所
- ② のんびり、おっとりした性格ですが、4人子供を育ててきたので、毎日のごはん作りは慣れてるつもりです。
- ③ 8年前にヘルパー2級の資格を取得しましたが、未だに使わずにいます。今は調理で頑張らせて頂いてその内、介護の方にもかかわれたらと思っています。



16号で紹介しましたご利用者、紺藤さんが再び七五調の作品をくださいました。楽しくておおらかで、大きな夢のある詩です。毎日こんな気持ちで過ごせたら世の中の苦しみや悲しみも半減するのでは…そんな気持ちにさえなります。紺藤さん、ありがとうございました。今後ご利用者のページを設けたいと思っています。随筆、俳句、短歌、手芸作品、書道などなど、お寄せいただくのをお待ちしております。

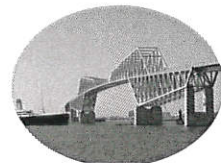
# 交流会 東京スカイツリー

H24.10.14(日)  
参加者 56名  
ご利用者 29名  
ワーカー 27名

貸切の観光バスで出発し、杉田から高速道路に入り、ベイブリッジからみなとみらいを眺めながら、工業地帯を進んで行きました。あいにくの天気で景色も今一つな感じでしたが、バスのガイドさんが京浜地区のガイドをしてくださり、近くに住んでいながら知らないことが多く中々興味深いものがありました。



洋光台駅 9:30am 出発



レインボーブリッジを渡り、フジテレビを横に見ながら、去年できたゲートブリッジを通り遠くに目的地のスカイツリーを眺めながら浅草に向かいました。

浅草の「ゴロゴロ会館」で深川めしの昼食をいただき、工芸品や名産のお土産を少し見てからいよいよ、スカイツリーへ。



浅草ゴロゴロ会館



エレベーターホールの天井が江戸切子を思わせるデザインできれいでした



さすが日曜日まだまだ混んでました



あらかじめ予約のエレベーターに乗り350mの展望デッキまで約50秒。エレベーターは4基あり中の絵は春の桜・夏の花火・秋の鳳凰・冬のスカイツリーとありますが、春の写真は撮れませんでした。



展望台より



お土産を急いで買って、さあ帰路へ。かなりの駆け足でしたが、旬のスカイツリーに行けて、皆満足できたようです。お天気は残念でしたが、無事に今年の交流会が終了しました。



集合写真 きれいに撮ってもらえました

# クリスマス会

於：洋光台三丁目自治会館



H24.12.16(日)  
参加者 58名  
ご利用者 32名  
ワーカー 26名



担当の林サンタよりごあいさつ



今回の出し物は手品。大忙しの二人が時間のない中、なんとか暇を見つけて練習しました。



シチュー  
パン  
ピクルス  
デザート



今回のプレゼントはじゃんけん大会で盛り上がりました



今回は趣向を変えて、ケーキではなく和菓子でした。クリスマスのモチーフでの和菓子はかわいらしかったです。アイデアですね

磯子区にもう一つワーカーズ・コレクティブが誕生しました。たすけあい磯子は、ハッピーママプロジェクトを応援しています。

## ワーカーズ・コレクティブ ハッピーママプロジェクト

代表 徳永 智子

現在、家庭や親子を取り巻く環境は孤立しやすいものになっています。家庭という空間で子どもを育てる人がいれば子どもは幸せなのか、子育てをする人がみんな子どもが大好きなのか、と問われれば私たちは必ずしもそうではない、と答えます。大きなストレスを抱え、お互いにマイナスに作用しあいながら、家庭という閉鎖された空間でうんざりしながら子育てをしている家庭もあります。そのような環境で子どもたちに、あなたが大事、あなたのままで大事、という安心感は与えられません。

昨今仕事を持ちながら子育てをする人をサポートする体制は、行政などにより整いつつありますが、仕事を持たずに子育てをする人については大きなサポートを得ることが難しくなっています。様々な家庭環境の中で、子育てをする人がおり、行政などではサポートしてもらえない子育てをする人がいるのです。

私たちは、そんな子育てを担う人を助けたい、『第二の実家』と呼ばれるような地域密着参加型の場を作り、子育てすることを専門に選んだ方が笑顔でいられるようサポートしたい、と思っています。子どもの幸せのためにまず子育てを担う人を幸せにしたいのです。

子育ての悩みを共有すること、そしてその悩みを一緒に解決していくこと、子育てをする親同士のコミュニケーションの場を作ること、それらが私たちの目的です。

私たちは『第二の実家』でありたい、という思いから、お互いに助け合って働くワーカーズ・コレクティブという働き方で運営し、それぞれのワークライフバランス(生活と仕事のバランス)を尊重します。

子育てを担う方が孤独にならないために、子育てを家庭の中にとどまらず地域全体で支えていく活動に発展させ、継続するために活動するグループです。

携 帯: 090-2736-7187 (代表 徳永)

M a i l : happy-mom.20111111@docomo.ne.jp

ブログ: <http://plaza.rakuten.co.jp/hmpdakko/>

住 所: 磯子区森 5-16-15 丸八ビル 101

京浜急行線『屏風ヶ浦駅』下車徒歩 3 分

バス停『屏風ヶ浦駅前』より徒歩 3 分

賛助会員  
募集

このような私たちの活動の趣旨に賛同し、後援していただける方を広く募っております。是非とも、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

### 親と子のひろば『だっこ』

一昨年より移動で行っていた『だっこ』が今年度より屏風ヶ浦を拠点に OPEN。4/15 より本格始動しています。



## 賛助会員募集

身近にこんな援助があったらと、生活の中から生まれてきた『たすけあい磯子』です。高齢の方、病気や障害がある方、その家族やその他手助けを必要とする方に対して、家事・介護・育児等の生活支援サービスを、多様な利用者のご要望に合わせて提供しています。地域の中でお互いが助け合い、支え合いつつ年をとっても障害をもっても、安心して心豊かに自分らしく暮らしていける地域社会を目指し「たすけあいの輪」を広げて行きたいと思います。このような私たちの活動の趣旨に賛同し、後援いただける方を広く募っております。ぜひともご理解とご協力のほどお願いいたします。賛助会員は交流会の参加などができます。

## 編集 後記

今年度は盛りだくさんの活動があり、忙しくも充実した内容に出来上がりました。ご協力して下さった方々ありがとうございました。

今回も広報の一員としてあまり役には立てませんでしたが、色々勉強させていただきました。来年もがんばります。

今期は会報発行を 3 月から 5 月に変更。発行間近になってあわただしい作業となりました。発行前にすでに反省会をし、来年はもう少し余裕を持ちたいです。

デイサービスの開設に向けて、忙しい一年だったように思いますが、長年の夢が実現しました。これからも広報からたくさんのお知らせをお届けしたいと思います。

会報の発行を 3 月から 5 月に変更したおかげで、期末までの内容を掲載できました。今回は活動報告を詳しくしたり、デイサービスの開所があったので、普段より増ページとなりました。いかがだったでしょうか？楽しんでいただければ幸いです。